

学校運営協議会会議録(サマーワークショップ)

学校名 杉並区立天沼小学校

記録者 土屋光久

テーマ「わくわくする学校ってどんな学校？」

開催日時	令和5年8月30日(水) 10:00~12:00
開催場所	天沼小学校 センターコート
出席者(委員)	薩摩校長、高橋会長、井上委員、生重委員、畝本委員、 加藤委員、中川委員、吉田委員、土屋委員 ※計9名
出席者(学校)	教職員(29名)
他の参加者	区教委(3名)、学校支援本部(4名)、保護者(14名)

会議内容(次第順)

- 全体進行・説明(吉田委員)
- 会長挨拶(挨拶、テーマ設定、背景・意図): (学校運営協議会、サマーワークショップの意義の説明に加え) 今日テーマ(薩摩校長先生の目指す目標のひとつ)に沿って、リラックスし和気あいあいと盛り上げて欲しい。
- アイスブレイク
 - ・「この夏、ワクワクしたこと！」をテーマに各グループにて自己紹介を兼ね、フリートークを行った。
- 事例インプット(インタビューにより、先生方からの事例発表)
 - ・自分の授業の中で子どもたちがイキイキしていると感じる時はどんな時ですか?
⇒子ども同士で語り合う時、自分たちで解決しようとしている時、自由度が高い活動時、等
 - ・子どもたちの「ワクワクする学び」を実現するための最大の挑戦は何だと感じますか?
⇒疑問に子ども自身が挑む、ワクワクする質問を思考する、ユーモアのある授業を目指す、等
 - ・子どもたちが積極的に参加する授業を工夫する際のポイントは何かですか?
⇒“うたのおねえさん”のようなトークり、子どもたちの思考を誘発する、知的好奇心を刺激する、等
 - ・地域や保護者と連携して「ワクワクする学び」を実現するためにはどうすれば良いと考えますか?
⇒地域で体験する場の提供、保護者が先生として授業に、地域や商店街での学習を根付かせる、等
 - ・コロナ禍が緩和された今だからこそ、今後チャレンジしたいことはありますか?
⇒他校の先生、保護者、地域の方々とスポーツを楽しむ、地域の祭り等を通し人との交流を、等
- 熟議(グループ別)
 - ・「ワクワクする学校に必要なことは何か？」をテーマにグループ討議(ワールドカフェ方式)
 - ・①テーマの探求・対話→②アイデアの交換→③アクションのまとめ→④ワークシート作成
- 発表(ワクワクする学校に必要なものは…) 以下、<>は班名、→の先に最初の一步の行動
 - <1>皆が時間と心にゆとりを→先生: 当たり前を見直す、保護者: 子どもがリラックスできるよう、地域: 交流の場所を
 - <2>先生のゆとりと口口魂→先生: 聞き手のワクワクを、保護者: ワクワクをみせる、地域: 小さなワクワクの比較
 - <3>互いに認め合える「信頼」→先生: 子どもにまかせる、保護者: 子どもにやらせる、地域: 皆に感謝する
 - <4>人としての元気が大切→先生: 早く帰る、保護者: ゆとり(笑顔)を、地域: 見守る、受けとめる
 - <5>子どもたちにとっての安心、大人の余裕→先生: 何でも話す、保護者: 不要を削る、地域: とりあえず関わる
 - <6>子どもたちが楽しめる環境→先生: 子どもと向き合う時間、保護者: 日常会話、地域: 昔遊び等、を大切に
 - <7>時間のゆとり→先生: 今の方針に自信をもつ、保護者: 無理をしない、地域: 見守る
 - <8>大人もワクワクする→先生: 一緒に挑戦、保護者: 学校・地域の活動に参加、地域: 朝の”おはよう”
 - <9>ゆとりと体験→先生: 整理、保護者: 会話、地域: 伝承
 - <10>大人が楽しむ事→先生: 心のゆとり、保護者: 笑顔を心がけて、地域: 仲間を増やして
 - <11>ワクワクの種をまく→先生: 自分のワクワク、保護者: 失敗をみせる、一緒に挑戦、地域: 安心・安全の実行
- まとめ(薩摩校長先生)
 - ・”大人のワクワク”に印象があった。 /先生方から、ともだちと一緒に、自由度を、仕組んでみる、 /子ども側から、どうしてだろう? 知りたい、学びたい、と思う気運、等がポイントとして挙がっていた。
 - ・みんなで一緒にやる、安心できる、互いに認め合える、ゆとりを持つ、子どもへの問いかけ、等の貴重な意見。
 - ・学校教育の最終目標「社会的自立」に向け、皆様と共にワクワクする学校づくりを進めていく。

次回以降の会議日程

日時	令和5年10月12日(木) 17:30より
会場	天沼小学校 家庭科室